

～魅力あふれる公園づくり構想策定～
第 1 回 市民公園づくり会議

—— 令和 3 年 1 2 月 1 8 日（土） ——

～魅力あふれる公園づくり構想策定～
第 1 回 市民公園づくり会議

❖ 本日のプログラム

【テーマ】

PARK✕LIFE

～公園とともにある
ライフスタイルを考える～

1. 開会
2. オリエンテーション
 - （1）市民公園づくり会議について
 - （2）各公園の特色と公園像
 - （3）ワークショップの進め方
3. グループワーク
 - （1）一人ひとりの「思い出」を集めよう！
 - （2）わたしの考える公園の「未来」とは？
4. 総評／まとめ
5. 閉会

(1) 市民公園づくり会議について

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

❖ 背景と目的

- これまで、本市の多くの公園は、**レクリエーション**や**地域コミュニティ**の場、**防災拠点**としての役割を果たしてきました。
- 近年では、新型コロナウイルスの感染拡大や高齢化の進展などに伴う社会情勢やニーズの変化により、**公園の担う役割は多様化**しています。
- これからは、公園の持つ**機能の更なる充実**や**魅力の向上**による**誰もが行きたくなるような公園づくり**が求められています。
- そこで、本市を代表する洲原公園、岩ヶ池公園、刈谷市総合運動公園、亀城公園、フローラルガーデンよさみの5つの公園を対象に、**各公園の特徴を生かした将来構想を、市民の皆様の声を聴きながら、民間活力の活用の視点も含めて策定し、誰もが行きたくなる魅力あふれた公園の実現を目指します。**

(1) 市民公園づくり会議について

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

❖ 魅力あふれる公園づくり構想とは

- 「魅力あふれる公園づくり構想」は、**地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりを推進**するために、各公園の特徴を生かした将来構想を策定する構想です。
- 本構想は、構想図などを作成することでわかりやすく示し、**今後の公園整備の将来像としてとりまとめます。**



【参考図】構想素案イメージ

(愛・地球博記念公園 県民協働空間「あいちサトラボ」)

(1) 市民公園づくり会議について

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

- ❖ 本会議の目的 魅力あふれる公園づくり構想策定にあたり、市民からの意見を広く取り入れたプランを作成するため、市民公園づくり会議（ワークショップ）により、各公園の「取り組むべき施策・事業アイデア」を具体的に提案をしていただくことを目的とします。

市民公園づくり会議でどんなことをするの？

公園での思い出や未来への思いを話し、皆さんと一緒に、5つの公園でできたら良いと思う「もの・こと」を出し合い、「あんな公園がいいな」、「こんな公園に行きたいな」などと思えるような公園の将来イメージをつくります。



(1) 市民公園づくり会議について

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

❖ 構想の策定体制

魅力あふれる公園づくり構想策定委員会

5公園のそれぞれの特徴を生かしつつ、新たな機能を付加した公園整備の将来構想（「魅力あふれる公園づくり構想」という）を策定するための委員会。

〔委員長：瀬口 哲夫（名古屋市立大学名誉教授）〕

構想策定の取り組みについて助言

第1回 委員会 8月20日（金）

- ☆各公園の目指すべき公園像
- ☆市民意見の聴取方法

第2回 委員会 11月19日（金）

- ☆市民公園づくり会議の進め方

市民公園づくり会議（ワークショップ）

5公園の「取り組むべき施策・事業アイデア」を具体的に提案をすることを目的として、市民で構成する会議組織。



【構想策定】

刈谷市

（事務局）
刈谷市都市政策部公園緑地課
教育委員会教育部スポーツ課

(2) 各公園の特色と目指すべき公園像

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

1. 洲原公園

《開設年度：昭和44年 開設面積：26.3ha》

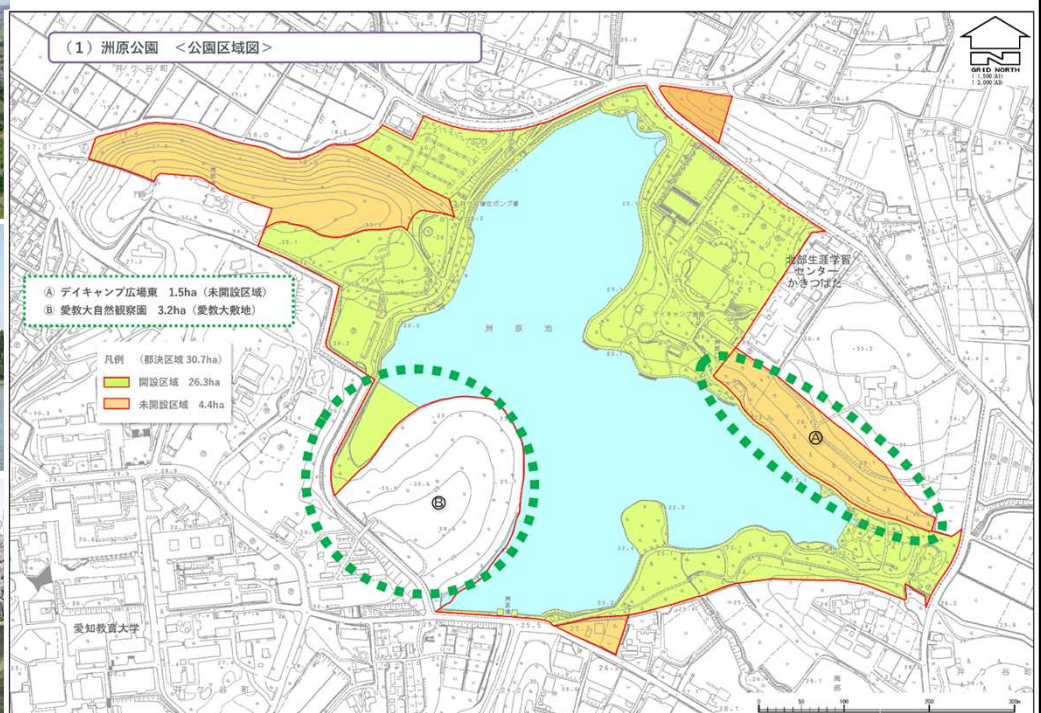
◆ 公園の特色

- ・丘陵地から見下ろす自然をいかした眺望やテニスコート、デイキャンプ場など様々な施設が充実
- ・洲原池を中心として、周囲に広がる松林を背景にした風光明媚な丘陵地にあり昭和44年に開設
- ・春には桜が咲き誇り、4月には桜まつりが開催
- ・市民の余暇活用に対応するため、平成2年に温水プール、テニスコートを、平成9年にはデイキャンプ広場・ファイヤー広場を整備
- ・公園近くには、国の天然記念物の指定を受けた小堤西池がカキツバタ群落で有名

◆ 目指すべき公園像

《テーマ》心と体のウェルネスパーク ～眺める・動く・食べる～

洲原公園



(2) 各公園の特色と目指すべき公園像

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

2. 岩ヶ池公園

《開設年度：平成16年 開設面積：10.9ha》

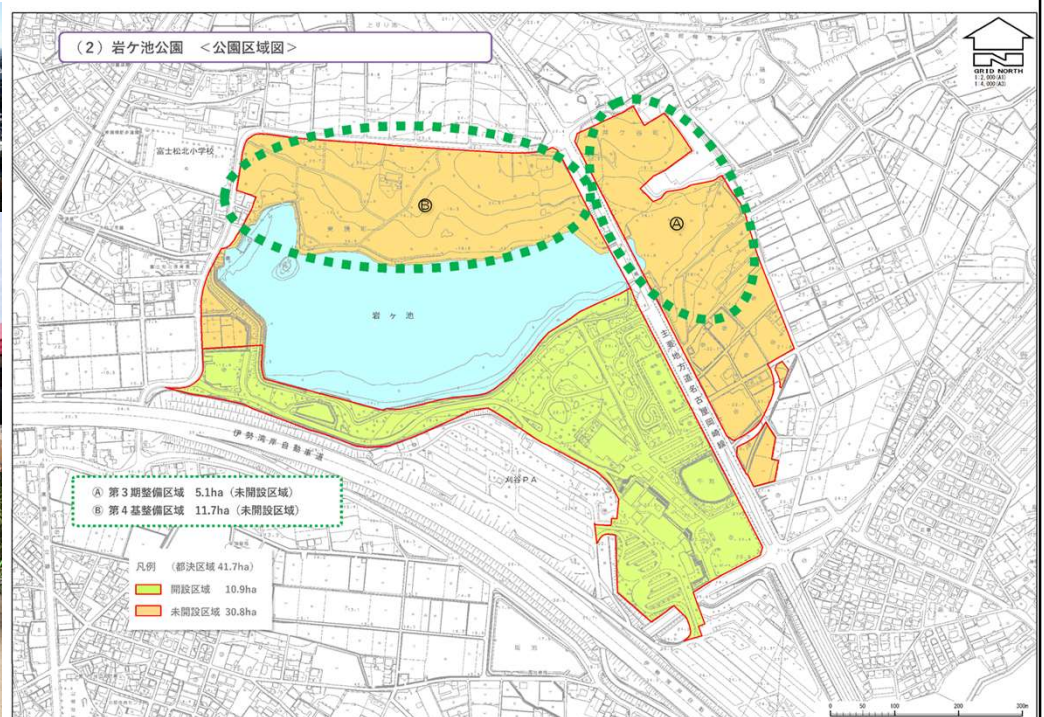
◆ 公園の特色

- ・ハイウェイオアシスとして高速道路側からも利用することができ、家族で1日楽しめる公園
- ・岩ヶ池周辺が伊勢湾岸自動車道・刈谷PAに近接していたことから、ハイウェイオアシスとして豊かな自然を活かした公園を整備
- ・平成16年にセントラルプラザを中心とした区域を、高速道路の開通にあわせて開設。平成20年に大型複合遊具、ゴーカート等の有料遊具ゾーンや林間遊具ゾーンなどを開設
- ・スマートICの供用開始が予定されており、アクセスが向上

◆ 目指すべき公園像

《テーマ》 自然の中でPLAY & STAY ～だから岩ヶ池公園へ行こう～

岩ヶ池公園



(2) 各公園の特色と目指すべき公園像

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

3. 刈谷市総合運動公園

《開設年度：平成6年 開設面積：18.4ha》

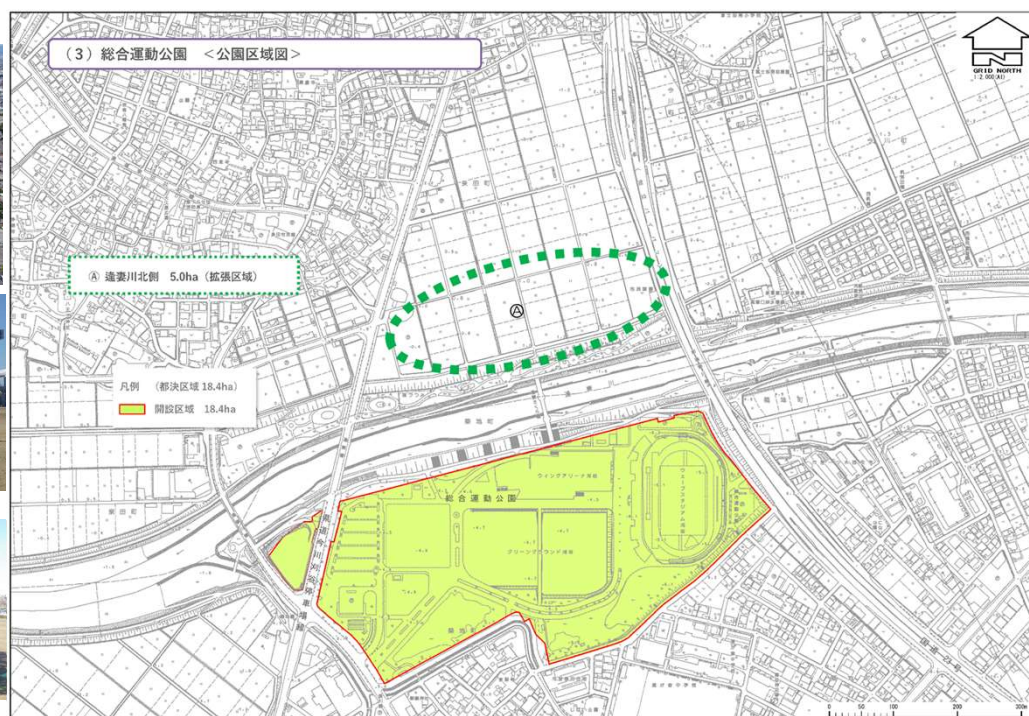
❖ 公園の特色

- ・陸上競技場や屋内アリーナなど様々なスポーツを楽しむことができる施設が整っており、本市のスポーツの拠点
- ・平成5年に「ウェーブスタジアム刈谷」が開設、平成11年に市内に初めて陸上競技場を整備
- ・平成19年に「ウィングアリーナ刈谷」と「グリーングラウンド刈谷」を整備し、ホームタウンパートナーチームの本拠地としても利用
- ・公園内にある芝生広場では、大型遊具も設置され楽しく利用する光景も見られる

❖ 目指すべき公園像

《テーマ》 未来をつくるスポーツテーマパーク
～「する」「みる」「ささえる」スポーツで楽しもう！～

刈谷市総合運動公園



(2) 各公園の特色と目指すべき公園像

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

4. 亀城公園

《開設年度：昭和12年 開設面積：16.1ha》

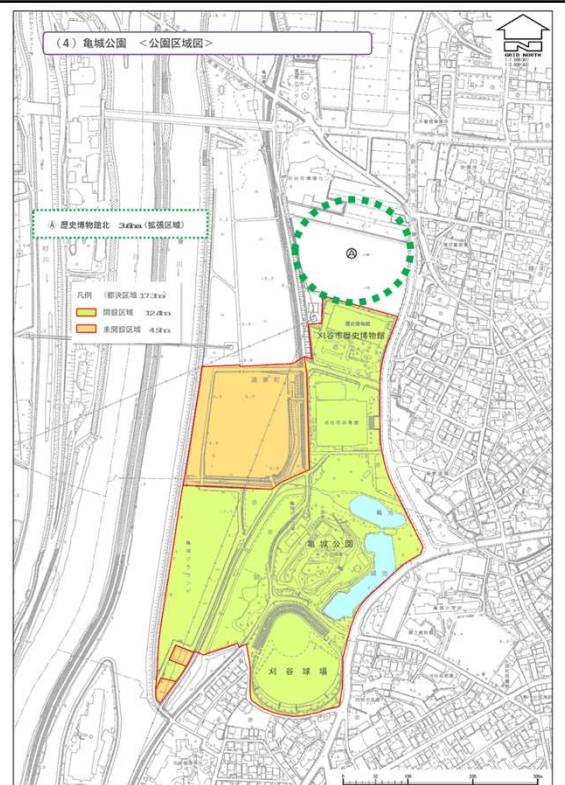
❖ 公園の特色

- ・刈谷城の跡地に開設した市内で最も古い公園で、刈谷の歴史の根源であるとともに桜の名所として古くから多くの市民の皆様のシンボリックな公園
- ・刈谷城の本丸と二の丸を中心に、県内3番目の都市公園として、昭和12年に開設し昭和44年に高台一帯を日本庭園として整備
- ・現在は歴史博物館や十朋亭などの文化施設だけでなく、球場や体育館などの運動施設もあり、幅広い目的で利用
- ・春には桜が咲き誇り、4月には桜まつりが開催
- ・過年度より亀城公園再整備事業中で、桜の樹勢回復とともに石垣と隅櫓の復元を検討

❖ 目指すべき公園像

《テーマ》 亀城公園の歴史公園化 歴史が身近に感じられる
～刈谷の歴史を「学ぶ」・「楽しむ」・「体感する」～

亀城公園



(2) 各公園の特色と目指すべき公園像

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

5. フローラルガーデンよさみ

《開設年度：平成19年 開設面積：4.3ha》

❖ 公園の特色

イングリッシュガーデンなどの美しい庭園があり、園芸に関する講習会やボランティアによる花の育成が行われるなど、花と緑をテーマとした様々な取り組みを実施

- ・平成13年に、旧依佐美送信所跡地の活用についての市民懇談会を開催
- ・「花と緑」をテーマに「市民参加」、「民間活力の導入」、「地域の田園風景と調和」を基本コンセプトとして平成19年に開設
- ・フローラルプラザや依佐美送信所記念館等、誰もが楽しめる施設が充実

❖ 目指すべき公園像

《テーマ》笑顔の花咲くフラワーパーク
～刈谷のよ・さ・み・りよく送信所(良さ+魅力=よさみ力)～

フローラルガーデンよさみ



(3) ワークショップの進め方

第1回 市民公園づくり会議
～オリエンテーション～

❖ ワークショップの進め方

- ワークショップは、北部（洲原公園、岩ヶ池公園）、中部（総合運動公園、亀城公園）、南部（フローラルガーデンよさみ）の3地域に分けて行います。
- ワークショップの開催回数は全6回を予定しています。
（必要に応じて回数は変更する場合があります。）
- 第1回、第5回、第6回は3地域の合同で開催し、第2回から第4回は地域別に開催します。
- グループの構成員（メンバー）は、全回を通して原則同じとします。
- 第5回（合同発表会）では、各地域で議論してきた内容を、市民公園づくり会議メンバーで共有する場とします。